

電気通信大学 平成19年度シラバス

| | | | |
|---------|-------------------------------|----------|--------|
| 授業科目名 | 論理回路学演習 | | |
| 英文授業科目名 | Exercises in Logical Circuits | | |
| 開講年度 | 2007年度 | 開講年次 | 3年次 |
| 開講学期 | 前学期 | 開講コース・課程 | 夜間主コース |
| 授業の方法 | | 単位数 | 1 |
| 科目区分 | 専門科目-学科専門科目-必修科目 | | |
| 開講学科・専攻 | 情報通信工学科 | | |
| 担当教官名 | 山口 和彦 | | |
| 居室 | 総合研究棟 919 | | |

| | |
|----------|------------|
| 公開E-Mail | 授業関連Webページ |
| | |

| |
|--|
| 【主題および達成目標】 |
| <p>論理回路学は、コンピュータのマイクロプロセッサなどを構成するデジタル回路を、数学的にモデル化したものである。コンピュータのハードウェアの理解の第一歩となる科目であり、論理回路の設計方法を学ぶことを目的とする。論理回路、順序回路の設計方法とそれに関する諸概念の理解をしっかりと学んで欲しい。</p> <p>この演習では授業に関する問題の解答による理解を深めることを目的とする。</p> |

| |
|-------------------------|
| 【前もって履修しておくべき科目】 |
| なし |

| |
|------------------------------|
| 【前もって履修しておくことが望ましい科目】 |
| 離散数学，論理回路（同時に履修すること） |

| |
|---|
| 【教科書等】 |
| 教科書：情報通信工学科三橋渉先生作成のテキスト「論理回路学・同演習講義ノート」を利用する。 |

【授業内容とその進め方】

以下の内容を演習する。

1. 数の表現と符号の体系
2. 命題と論理
3. 論理関数と表現形式
4. 論理関数の簡単化
5. 組み合わせ論理回路
6. 順序回路
7. 状態変数とフリップフロップ
8. フリップフロップによる順序回路の実現

論理回路学と一体で指導が進められる。演習課題については、宿題のレポート課題を出すことが多い。論理回路学授業の時間で解説で解説できなかった部分の授業を行うことがある。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

論理回路学を参照のこと

【オフィスアワー：授業相談】

月曜日 - 金曜日 12:30 - 16:30

会えない場合は、E-mailなどで事前にアポイントを取ること。

その場合、訪問可能な日時をできるだけ多く指定すること。

【学生へのメッセージ】

基礎的な科目なのできちんと身に付けて欲しい。

離散数学（学科によっては必修科目）や集合論等の内容と関係深く、その関連性を認識するとよい。

また、論理回路学の講義の中ではアルゴリズムを勉強する上で、興味深いものが数多く取り上げられていることにも興味を持って欲しい。

【その他】

E-mailアドレス及び授業関連のURLは授業中に板書にて公開し、シラバスには載せない。

電気通信大学 平成19年度シラバス

E-mailアドレスについては山口のURL <http://www.lit.ice.uec.ac.jp/yama/>を参照してもよい。